

平成26年10月16日  
於  
府中市立教育センター

平成26年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成26年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成26年10月16日(木)  
午後1時30分  
閉 会 平成26年10月16日(木)  
午後2時49分
- 2 会議録署名員  
委 員 村 越 ひろみ  
委 員 浅 沼 昭 夫
- 3 出席委員  
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉  
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸  
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員  
な し
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史  
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 英 太 郎  
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江 口 桂  
総務課長 志 摩 雄 作 ふるさと文化財課長補佐 黒 沢 明 美  
総務課長補佐 北 村 均 生涯学習スポーツ課長 矢 々 崎 幸 夫  
学務保健課長 酒 井 利 彦 生涯学習スポーツ課長補佐 古 田 実  
給食担当主幹 須 恵 正 之 美術館副館長 山 村 仁 志  
学務保健課長補佐 山 田 晶 子  
指導室長補佐 古 塩 智 之  
指導室副主幹 阿 部 憲 靖  
統括指導主事 日 野 正 宏  
指導主事 山 本 勝 敏  
指導主事 坂 元 竜 二  
指導主事 岡 戸 繁 樹  
指導主事 林 田 孝 子
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 熊 坂 奈 美  
総務課事務職員 平 田 暁

## 議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第3 1号議案

府中市立幼稚園の今後のあり方について

第3 2号議案

全国学力・学習状況調査の結果の公表について

第3 3号議案

府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 平成27年度公立幼稚園募集要項について
- (2) 「平成26年度 給食展・大試食会」について
- (3) 「府中の発掘お宝展2014～府中市発掘調査60年のあゆみ～」について
- (4) 「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」について
- (5) 企画展「生誕100年小山田二郎」の開催について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成26年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と浅沼委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎傍聴許可

○委員長（崎山 弘君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（崎山 弘君） 傍聴の方に申しあげます。本日の第32号議案につきましては、手続き未了の資料となっておりますので、配布を省略させていただいております。皆様には議案のかがみのみでお配りしておりますことをご承知おきください。

また、第33号議案につきましては、資料に個人情報に記載されており、該当する部分の記載を省略させていただきますので、ご承知おきください。

（「はい」の声あり）

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第31号議案 府中市立幼稚園の今後のあり方について

○委員長（崎山 弘君） それでは、第31号議案の審議に入ります。

第31号議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いします。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） それでは、第31号議案、府中市立幼稚園の今後のあり方についてご説明いたします。

本議案は、平成30年度から3カ所の府中市立幼稚園を段階的に廃止するとともに幼児の定員について縮小するものでございます。

本市は、昭和40年ごろから人口増による幼児人口の増大に伴い、私立幼稚園の定員不足に対応するため私立幼稚園の補完施設として府中市立幼稚園を昭和45年から58年にかけて3園を設置し、運営を行ってまいりましたが、人口の減少及び保育施設への需要の高まりなどから補完施設としての役割を終えたことや定員に対する充足率の低下、公共施設の維持、運営の方向性などを総合的に判断し、府中市立幼稚園を段階的に縮小・廃止することについてお諮りするものでございます。

縮小・廃止の考え方でございますが、本市では平成15年度に学識経験者や幼児教育関係者5者の代表等による府中市公立幼稚園教育検討協議会を設置し、今後の幼児教育と施設運営の方向性等について検討を行い、当該協議会から縮小、廃止の考え方などが示されました。そのことを受け、充足率や幼児人口の推移などの動向を把握しながら縮小開始の時期について検討してまいりました。

現在、市内私立幼稚園は定員内で入園希望者を受け入れており、市立幼稚園においても充足

率が平成21年度以降低下傾向にあることなどから私立幼稚園の補完施設としての役割は終了と考えられます。また府中市行財政改革推進プランによる民間活力の導入の視点や平成25年度に実施した事務事業点検において抜本的見直しと評価されたこと、府中市公共施設マネジメント推進プランにおける公共施設の今後の方向性など公共施設の効率的な運営を図ることが求められていることなどから段階的に縮小・廃止することとしたものでございます。

縮小・廃止のスケジュールでございますが、市内幼稚園の定員が急激に減少することがないように1園目を平成30年度末に、2園目を平成32年度末に段階的に廃止して定員規模を縮小し、最後の3園目を平成34年度末に廃止するもので、3園の縮小開始の順につきましては充足率の推移や子ども・子育て支援新制度のもとにおける平成27年度の充足率を参考にするとともに、施設の老朽化の状況などを総合的に判断して決定してまいります。

これにより府中市立幼稚園は平成34年度末に全て廃止することとなりますが、その後につきましては府中市学校教育プランの考え方に基づく幼小連携の充実に努めるとともに、廃止後の施設や用地につきましては、主として就学前の教育に資するものとして活用することの可能性の検証やさまざまなニーズを把握しながら有効活用を図ってまいります。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

この点に関しましては、協議会の中で既に十分論議は重ねている問題でございます。

それでは私のほうから1点質問したいのですけれども、文章的な問題なのですが、お配りいただいた議案の中では、例えば「平成30年度をもって」と書いてありますが、今の説明の中では「年度末をもって」という言い方をされていまして、これはどういうことなのか。この文章も「年度末をもって」というほうが正しいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○教育長(浅沼昭夫君) ご指摘のとおりでございますので、統一していきたいと思いますが、「30年度をもって」ということも「末」という意味で記載したものです。統一していきたいと思います。

○委員長(崎山 弘君) ありがとうございます。

ほかに何かご質問ございませんでしょうか。

それでは、お諮りいたします。第31号議案、府中市立幼稚園の今後のあり方について決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第32号議案 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、第32号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いいたします。

○統括指導主事(日野正宏君) 全国学力・学習状況調査の結果の公表についてご説明いたします。

お配りしました資料のうちA4判のもの、先ほど申しわけございません、差しかえをさせて

いただいたものでございますが、公表の際、家庭等に公表資料とともに配付する文書の案でございます。公表の趣旨や全国学力・学習状況調査の実施状況等について説明をしております。また学力向上の取り組みに、学校・家庭・地域が協働して取り組んでいただきたいということを強調しております。

1枚おめくりいただきまして2枚目でございますが、同じくA4判で通知と合わせまして公表資料の捉え方というところに特化したチラシも作成しております。

A3判でお配りしております資料が公表の具体的な内容となります。市の公表資料と学校用の公表資料がございます。それぞれ小学校、中学校となっております。

市の公表資料の内容は教科に関する調査問題の趣旨、教科に関する調査結果から読み取れること、児童・生徒質問紙調査結果と教科に関する調査結果との関連から読み取れること、学力向上を図るための学校・家庭・地域・市教育委員会の役割、裏面に参りまして、資料として市の教科等の平均正答率、設問別正答率、質問紙と教科に関するクロス集計、こちらにつきましては質問が全部で74問ございますが、その中から抜き出して掲載をしております。表面の文章に関しまして、こちらの文言等は今後また精査をしていくことを考えております。

学校用の公表資料につきましては、学校のほうで2番、「教科に関する調査結果から読み取れること」、3番、「児童・生徒質問紙調査結果と教科に関する調査結果との関連から読み取れること」、4番、「学力向上を図るための学校・家庭・地域・市教育委員会の取組」を学校の調査結果に即して達成していただくことを考えております。

今後に向けてでございますが、庁議を経まして11月18日の文教委員会協議会への報告を行いまして、11月19日以降、市教育委員会としての公表を予定しております。その後、学校が公表するということになりますので、12月中を目途に学校の公表を実施することを予定しております。

結果の公表の基本的な方向性につきまして、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいま説明が終わりました。ご質問、ご意見をお伺いします。

○委員（松本良幸君） この公表の具体的な仕方なのですが、各家庭にA3判がいくのですか。それとも学校で掲示する、またはホームページで掲示するのか、ちょっとその辺を教えていただけますでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） 市の結果につきましては、市のホームページ、そして『教育委員会だより』で公表することを考えております。学校の結果につきましては、保護者の通知と合わせて、このA3判のものを家庭に配付ということを考えております。

○委員長（崎山 弘君） ほかにご質問ございますでしょうか。

では、先に私のほうから1点。

それぞれ小学校、中学校の個別のほうですけれども、多分そうだと思うのですが、4番の学校の役割並びに家庭の役割がまだ空欄になっているのですが、これはそれぞれ学校で文章をつくって記載するという理解でよろしいでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） おっしゃるとおりでございます。学校の実態に即してこちらは市の公表内容も参考にいただきながら学校で作成をしていただきます。

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、もう1点。

裏面のほう、同じくクロス集計の項目がまだ空白になっているのですが、クロス集計の項目

もそれぞれの学校で選ぶことが可能、それぞれまた別々のクロス集計をするということによろしいでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） そのとおりでございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

皆さん考えていらっしゃるようであります。前から申しておりますけれども、数字を公表すること自体にそれほど大きな意味があるわけではないので、このように緻密に考察を加えて、それがわかりやすいように整理する義務が我々の手段ではないかと思えます。その点において自然体の公表というか、それをまずつくっていただいたことと、それぞれ学校ごとにクロス集計をするというのは非常にいい姿勢だと思います。やはり我々の学校では、こういうことが問題だ、こういうことが課題だ、ここは非常に我々は評価するべきだというのが見えてきますので、それを上手に伝えることができればよいのではないかなと思っておりますので、この公表の形は非常によいのではないかと考えます。

○委員（齋藤裕吉君） 確認という意味合いが強くなるかもしれませんが、市教委が公表する公表の仕方というのは各学校が並列されるような、例えばA小学校、B小学校というふうに、極端にもっと言えば比較できるような、そんなふうな資料提示ということではないという理解でよろしいでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） 各学校の比較をする予定はございません。

○委員（齋藤裕吉君） ということは学校別のものについては市教委としては公表しないで、あとは各学校ごとの判断で学校ごとにどういうレベルの公表をするかは決めるということではないでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） 各学校で市の公表資料にあわせて今、後ろの2枚についている形で公表をしていただく予定でございます。

○委員長（崎山 弘君） 今に関連してですけれども、非常にうがった見方ではございますが、どこか個人が、それこそホームページをつくってそれぞれの学校を調べ上げて書こうと思えば書けるし、それを別にこちらからどこかのそのホームページをつくった人に対して削除を申し入れるということは不可能なわけですから、それが出てしまったらやむを得ないというご理解でよろしいのでしょうか。

○統括指導主事（日野正宏君） おっしゃるとおりでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 少し補足させてください。1点目は、この形をつくるまでに、これは指導室が単独に進められたということではなくて、校長会とも十分話し合いを進めながら、どうすれば学力テストの結果が教育活動の改善につながるかというような点において意見をお願いしてきたということを1つつけ加えていきたいと思えます。

2点目は、各学校のホームページという選択もあったわけですが、これは利害関係者という言い方はおかしいですが、外部に知らせるというようなことを積極的にやる必要はないだろうと。したがって、保護者、児童・生徒、そしてコミュニティースクールの委員さん方あるいは地域の方々という、その学校の実態をより多く知っていただいて、ともに教育を改善していこうという方々に知らせていこうという意図で落ち着いた状況です。したがって、例えば教育関係者、学校以外の関係者がこれを集めて一定のラインにするということは可能でありますけれども、そのことについてはあり得るということを進めているというこ

とです。以上です。

○委員(齋藤裕吉君) 今、教育長がおっしゃったような趣旨をぜひ、くどいくらいに学校等、市教委がメッセージを発する場合にもきちんと何度も表明していく必要があるのかなと私の意見として思います。いろいろ公表の仕方については全国的にもさまざまな形が報道されて、またいろいろな意見が交わされている中でありますので、そういう中で府中市としてはこうだということ、同じことを言ってしまうけれども、明示しながら公表していくことをやっていければよいかなというふうに思います。

それと数字をそのまま出して、数字や何かというのは、どうしてもある基準に比較して上か下かと、こういう見方をどうしてもしてしまいがちなところがありますので、その辺は学校で、もし数字的なものを公表する場合は十分考えてくれるとは思いますが、コメントを明確に示して公表するというような、そういうことが大事なかなというふうに私は思います。わずか0.1ポイントぐらい上だ下だということ、どうだこうだというふうな読み取りにならないような、そういうふうな受けとめをしてもらいたいなというふうに私は思うのですけれども。意見でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに、どなたかご意見ございますでしょうか。

○委員(村越ひろみ君) 公表されるということですが、基本的には先生方がこの調査をもとに次のステップに向けてというか、子どもたちの指導に向けてのいい材料になると言ったら変ですが、そういうふうに使ってもらえたらいいのかなとは思いますが。あとは保護者に向けても確実にしっかり説明をしていってもらえたらと思います。以上です。

○委員長(崎山 弘君) ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

じゃあ、私からもう1点。この文章ですが、これは先ほど教育長が校長会でもそういう話だったという話を言われましたが、東京都教育委員会から何かこういうようなひな型みたいなものが提示されたとか、そういうことはあるのでしょうか。

あるいはもう1点、ほかの市区町村あるいは他府県で公表の仕方を参考にしたとか、そういう点はございますか。

○統括指導主事(日野正宏君) 東京都教育委員会のほうからひな型というものはございません。他区市につきましては、公表しているやに聞いている部分もございますが、まだちょっと資料が十分に集まっていない状態ですので、今後も情報収集に努めて検討してまいりたいと思っています。

○委員長(崎山 弘君) ということは府中市教育委員会の指導室の方々がつくってくださったということで、非常によかったなと思います。ありがとうございました。

ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りいたします。第32号議案、全国学力・学習状況調査の結果の公表について決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。



◎第33号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、第33号議案の朗読をお願いいたします。

(事務局朗読)

○委員長(崎山 弘君) 説明をお願いいたします。

○美術館副館長(山村仁志君) それでは、ただいま議題となりました第33号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱につきましてご説明いたします。

本選定委員会は、府中市美術館条例第23条第1項第1号の規定に基づき美術作品等の収集及び評価について審議するために設置され、その委員につきましては教育委員会が委嘱するものでございます。本選定委員会委員の委嘱につきましては、学識経験を有する者6名以内で記載のとおり6人の委員の皆様でございます。

なお、選定委員会の任期は2年でございます。平成26年11月1日から平成28年10月31日までの期間でございます。

なお、2名が新任、4名の方が再任でございます。

そして、本選定委員会は同条例施行規則第16条第1項の規定に基づき、美術館における美術作品等の収集につきまして館長の諮問に応じて審議し、答申をいただくことになっております。

以上、選定委員会委員の委嘱に関します説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 特別にご意見ないようですので、お諮りいたします。

第33号議案、府中市美術品収集選定委員会委員の委嘱について決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。



◎平成27年度公立幼稚園募集要項について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡に移ります。

報告・連絡(1)について、学務保健課、お願いします。

○学務保健課長補佐(山田晶子君) それでは資料1に基づきまして平成27年度公立幼稚園募集要項についてご説明いたします。なお、資料につきましては、みどり幼稚園の募集要項のみとなっておりますが、矢崎幼稚園及び小柳幼稚園も同様に募集するものでございます。

園児募集の(1)募集人員は、1年保育70人、2年保育は1年保育の入園を優先するため応募状況により定員が変わる文言となることから、その状況によって募集人員が変わることになります。

(2)保育料は、恐れ入りますが、資料の2枚目をごらんください。保育料が応能負担となることから市立幼稚園においても新制度に基づき保育料を決定するもので、保育料の改定案は表のとおりでございます。

資料の1枚目に戻りまして(3)保育時間は記載のとおりでございます。

(4)応募資格は記載の期間に生まれ、保護者と一緒に住み、住民基本台帳に記載されてい

る幼児です。なお、ほかの市立幼稚園と同時に申し込むことはできない状況になっております。

(5) 入園申し込みは10月22日から願書を各園及び学務保健課で配付し、23、24日に入園を希望する幼稚園に提出していただきます。

裏面をごらんください。

(6) 選考方法及び(7)入園手続は11月8日に幼児及び保護者と面接を行って内定者を決定し、面接終了後、入園手続についての説明を行います。

(8) その他以降の内容は記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告・連絡(1)について了承いたします。



◎「平成26年度給食展・大試食会」について

○委員長(崎山 弘君) 続いて報告・連絡(2)について、学務保健課、お願いします。

○学務保健課長(酒井利彦君) それでは資料2に基づきまして市制施行60周年記念、給食展・大試食会の開催につきましてご説明いたします。

給食展・大試食会は学校給食センターで提供している安全・安心でおいしい給食について、より多くの保護者や市民に試食や体験をしていただくことにより学校給食についての理解を広め、食への興味や関心を深めるため実施するものでございます。3年ぶりに改正となる本年は『みらい』(味蕾・未来)へつながる給食」をテーマに10月25日、土曜日に第1及び第2学校給食センターで開催いたします。

詳細はチラシのとおりでございますが、今回の大試食会の献立は和食が無形文化遺産に登録され、学校給食においても和食のよさを知っていただきたいということで、和献立の豆腐入つくね、五目汁等々きのご飯、鮭の塩麴焼き等の2種類の献立を1食200円で各750食、合計1,500食を用意いたします。その他ジャガイモ餅の調理体験、給食カードバイキングによる栄養診断など体験いただける催しや食材納入業者による朝焼きのパンやドレッシング、生産者による地場産野菜の販売など数多くの出店もございます。職員一同準備を今現在進めております。ぜひご来場くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、当日の混雑を緩和するため、10月18日、土曜日、午前10時から試食券の前売りを市役所1階、市民談話室で行います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

○委員(齋藤裕吉君) 3年ぶりということですが、3年前は市民の皆様方の反応とよいでしょうか、おいでになった人数とかいかがだったのでしょいかね。今回もまた、今回そういうものを踏まえてまた計画していらっしゃると思うのですが、どうでしょうか。

○学務保健課長(酒井利彦君) 平成23年度の給食展・大試食会の際は結構大雨でございまして、天気の関係もありまして、ただ、2,000人程度の入場者がございまして、その前の年の平成22年度は本当に天気もよくて3,000人程度の来場者があったというふうな状

況で、今回も天気がよく、多くの方にいらしていただけたらというふうに考えております。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かございますでしょうか。

私からちょっと1点。サブタイトルに「みらい」、これは味を感じる「味蕾」と将来の「未来」を重ねておもしろいなと思うのですが、『みらい』（味蕾・未来）へつながる給食」というサブタイトルがついているのですが、このサブタイトルに見合うようなコーナーとか何か味見する、これは甘い、しょっぱいというような味蕾を意識するようなコーナーとかあったりするのでしょうか。

○学務保健課長（酒井利彦君） 直接はないのですが、調理体験のところですか、前回23年度もやらせていただいたのですが、調理をして食べていただいてということで、大変好評をいただきましたので、今回そういう形でやらせていただきたいと考えております。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎「府中の発掘お宝展2014～府中市発掘調査60年のあゆみ～」について

◎「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」について

○委員長（崎山 弘君） 続いて、報告・連絡（3）について。ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） それでは、ふるさと文化財課から2件まとめてご報告いたします。

まず「府中の発掘お宝展2014～府中市発掘調査60年の歩み～」につきまして、資料3に基づきご報告いたします。

市では昭和50年から現在まで1,600カ所を超える発掘調査を行ってまいりました。その調査成果をさまざまな形で多くの方々にご紹介する機会として特別展「府中の発掘お宝展2014」を開催するものです。今回は、府中市制施行60周年にあわせまして「府中市発掘調査60年の歩み」をテーマに府中のまちのルーツである武蔵国府の遺跡を初め旧石器時代から近現代までの遺跡から出土した貴重な文化財を通して、古代の人々の暮らしや当時の文化、まちのにぎわいなどをひもとき、また紆余曲折を経て武蔵国府の具体的な様子が明らかになってきた調査の蓄積を展示してまいります。60年間の発掘調査の歩みにスポットを当てたパネル展示も行います。

なお、今回は前期・後期の2回に分けて展示会を行い、展示内容も若干変わります。会期は前期展が11月1日土曜日から7日金曜日まで、会場はフォーリス1階、光と風の広場でございます。後期展は、ふるさと府中歴史館1階に会場を移しまして11月18日火曜日から平成27年2月15日までとし、なお、前期展の会期中の11月3日祝日、午後2時からギャラリートークを行います。

この中で本日もう1枚お手元に追加資料としてお配りしましたこちらの写真をごらんください。

ふるさと府中歴史館公認キャラクター、ムサシカメ丸君のゆるキャラが11月3日祝日のギャラリートークでデビューいたします。ムサシカメ丸君につきましては、同じく市制施行60

周年記念としてふるさと府中歴史館の公認キャラクターとして創出したものでございます。

ムサンカメ丸君のモチーフでございますが、奈良時代から平安時代にかけて府中市の発掘調査でたくさん出土します武蔵国府で煮炊きに用いられた土師器の武蔵型瓶をイメージしたものでございます。土師器の瓶というのは逆さまにした、この写真を逆さまにしたものが本来の瓶でございます。土師器の瓶というのは、当時かまどに据えつけてお米などを煮炊きするために用いた瓶でございます。それをひっくり返してこのような形につくり上げたものでございます。このゆるキャラを今後11月3日をデビューとして、ふるさと府中歴史館のPRにいろいろな場で活用してまいりたいと考えております。

続きまして「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」につきまして、資料4に基づきご報告いたします。

白糸台掩体壕は、今から約70年前、太平洋戦争の末期につくられた戦闘機用の防空壕です。市では戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へと語り継いでいくための貴重な文化財として白糸台掩体壕を保存整備し、一般公開を行ってまいりました。毎年、東京文化財ウィークの開催に伴い、通常時は公開していない壕の内部を特別に公開する見学会を11月3日、月曜祝日の午前10時から午後4時まで、また調布飛行場まつりにおきまして、府中、調布、三鷹の3市合同による調布飛行場の歴史パネル展示会を10月19日、日曜日、午前10時から午後4時まで行います。いずれも随時ご見学いただけるほか、職員による解説や地元調布飛行場掩体壕を保存する会にもご協力いただく予定です。

報告は以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告・連絡の（3）（4）につきまして、まず1つ、（3）府中の発掘お宝展のほうにつきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（松本良幸君） 前期と後期とあるのですけれども、場所が変わるだけで内容は同じになるのでしょうか。それともそれぞれ別のものになるのでしょうか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） まず前期展につきましては、毎年、株式会社フォルマさんにご協力をいただきましてフォーリスの会場で行っております。こちらについては買い物帰りに気軽に立ち寄って遺跡を見ていただけるということで非常に好評でございまして、この中で短期間で展示できるようなものを、例えばこのチラシの中にありますちょっと金属木のような光った写真がありますが、そういったものも、できる限りフォーリスのほうで、短期間でございまして、そこで展示するようにしたいと思っております。そういう形で前期と後期は内容を若干変えまして展示をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ちなみに、このゆるキャラは飛び跳ねたりしゃべったりはしないのですか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） ふなっしーほどではないのですが、できるだけ歩いて子どもたちに触ってもらえるように、歩き方はちょっと鈍いのですけれども、できるだけ、飛び跳ねまではいきませんが、動けるようにしてまいりたいと思っております。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございませんか。

○委員（村越ひろみ君） また府中のゆるキャラがふえたのかなとは思っているのですが、

会にいきたいと思います。

それと掩体壕の特別見学会ですか、11月3日にある。私も委員になったときに伺ったのですけれども、あまり見学の方が多くないような印象があって、もう少しPRとか、もっと人が集まるようなイベント的なものという企画はないのでしょうか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） 委員ご指摘のとおりでございますが、ことは昨年までと違うのが地元の白糸台、朝日町周辺の自治会の皆さんに回覧を回して、特に地元の皆さんにできるだけ多く来ていただけるようにPRに努めてまいりたいと思っております。

それから先日、議会のほうからもご要望として、やはり委員さんから今ご指摘があったようなことと、あと今後10年計画で市史編纂事業を進めてまいりまして、その中で掩体壕についても含めて調布飛行場周辺の歴史を見直して、それはきちんと市民に伝えていくようにしてほしいということでご要望もいただきましたので、その点も今後は掩体壕につきまして広くさらに市民に伝えていくような形で努力してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員（村越ひろみ君） せっかく、私も中に入って「へえ、こんななんだ」というのは見てとれたのですけれども、もっと人がいっぱい来たらいいのになというのを感じたし、あと子どもたちの周知とかないのですか。学校単位で見に行くとかそういうことは、年間通してとかはないのですか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） そちらにつきましては、先般、白糸台小学校のほうから子どもたち、児童の皆さんにまともに見学に来ていただきましたので、そういう機会を今後も広くつくっていくように努めたいと思います。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かよろしいでしょうか。（4）の掩体壕のほうも。何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、（3）と（4）につきまして、ふるさと文化財課の報告につきまして了承いたします。



◎企画展「生誕100年小山田二郎」の開催について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（5）につきまして、美術館、お願いします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは美術館から次回の企画展について報告いたします。お手元のチラシ、資料をごらんください。

11月8日土曜日から2015年2月22日日曜日まで、生誕100年小山田二郎展を開催いたします。第2次大戦後の日本洋画を代表する偉才の画家、小山田二郎の生誕100年を記念する本格的な回顧展です。

小山田は帝国美術学校、現在の武蔵野美術大学の前身在学中にシュルレアリズム、超現実主義に傾倒し、ユニークな幻想絵画を描き続けて全国的に知られている評価の高い画家です。小山田は1960年から1971年まで府中市の紅葉丘のアトリエで暮らしていました。府中市ゆかりの画家でもあります。本展は油彩と水彩168点によって小山田二郎の全画業を振り返ります。なお、一部前期と二部後期では大幅な展示がえを行います。

チラシの裏面をごらんください。

会期中、作家や出品作をわかりやすく説明して、ご好評いただいております恒例の20分ス

ライドレクチャーや本美術館の担当学芸員が小山田の生涯を解説する講演会、そして高名な文芸評論家、栗津則雄氏が小山田絵画の意味について講義、解説します。また常設展示室では「この70年の美術」そして牛島憲之記念館では「人工物のある風景」を開催いたします。このほかにも公開制作、福士朋子やアートスタジオなども予定しております。

以上で美術館の報告を終わります。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(松本良幸君) 新しい展示ではないのですけれども、今、開催されているミレー展なのでもうすぐ終わるけれども、とても周りで行かれた方からの評判がよくて、またお客様がたくさんいらっしゃいましたという報告を聞いているのですが、今までのところ入場者数とか、その辺のところはどのようになっていらっしゃいますでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) ありがとうございます。ミレー展の入館状況ですが、昨日までの集計で2万4,351人、1日平均812人ほどご来館いただいております。以上です。

○委員(松本良幸君) 予定想定からすると、どれくらいでしょうか。目標達成でいらっしゃいますでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) 見込みとしましては3万人ということなので、このままいくと、ほぼ3万人ということで見込みどおりではあるのですが、目標が、あと1週間で800人ずつ来れば約3万人ということになります。見込みはそうだったのですが、目標は5万人だったものですから、目標には届かないかなと思っております。以上です。

○委員(松本良幸君) ありがとうございます。あくまで商売だけではないので、皆さんがとても評判がいいということは私も関係者としてうれしく思っておりますので、これからふえることを願っております。ありがとうございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

私から1点。栗津則雄さんの来るというのは、それはもっと大きくどこかに出てもいいのかなど。確かに展示としては小山田氏のですけれども、多分人を呼べるのではないかなと思っております。もう少しそこを、もう既に段取りはできていますけれども、何か宣伝するとかそういう計画はございますでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) 今のところ予算的に印刷費はありませんので、庁内印刷で講演会のものをつくって、なるべく多くの方に来ていただきたいと思っています。以上です。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

それでは報告・連絡(5)について了承いたします。



#### ◎その他

○委員長(崎山 弘君) その他ですが、何かございますでしょうか。

○委員(松本良幸君) 先週と今週2週にわたって大きな台風が上陸したわけですが、10月6日は市内33校の公立小中学校が臨時休校となりましたが、対応の中で大きな混乱とか事故等はなかったのでしょうか。

○指導主事(坂元竜二君) 学校から事故の状況ですが、児童・生徒は安全に確保ができたというような報告を受けています。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） セカンドスクールにつきましてご報告申し上げます。

先週の台風の際には第九小学校と新町小学校が同時に出発する当日になっておりました。台風の進路の状況等を勘案いたしましておくれて午後から出発をさせていただいております。当日無事に到着しております。以上でございます。

○総務課長補佐（北村 均君） 施設関係につきましては、特に異常はなかったのですが、若干雨漏りの学校が何校かありました。以上でございます。

○文化振興課長（英 太郎君） 文化施設でございますが、グリーンプラザで強風のため火災報知機が反応してしましましてベルが鳴り響くということがございまして、深夜2時ごろですが、消防、警察、また近隣の方にご迷惑をかけるような被害がございました。今後、修理徹底して直してまいります。

○委 員（松本良幸君） ありがとうございます。

私は当日、両日とも朝、各学校のホームページを見させていただいたのです。その中で目立つように臨時休校をお知らせしてくれていた学校は小学校11校、中学校4校でした。核家族化や個人情報保護法等の影響で電話連絡網がうまく機能しなくなった現在、またメール受信も強制ではない状況で、ホームページを参照する家族も多いのではというふうに思っています。しっかりとした対応マニュアルが配付されているとはいえ、前回、今回のように明確に大雨または晴天というふうにはっきり判断してできる場合はいいのですけれども、ちょうど7時のニュースの時間にテレビを見損なったというような方、または朝早く会社に出勤されるというような方もいらっしゃるかと思いますので、中途半端な場合については保護者も迷うと思いますので、ホームページは文書配付や電話連絡に比べたら格段に少ない点まで連絡できる便利な道具ですので、保護者に対して、過保護かもしれませんが、活用したほうがよいのではないのでしょうか。

また台風のように予測可能な災害時にあらゆる連絡方法を試しておくことは、大震災のように予告なく起きる災害時の訓練になるのではないのでしょうか。先生の通勤時間等で早朝の更新は難しい学校もあるとは思いますが、自宅から更新できるブログを利用したりしてうまくできている学校もありましたので、上手な方法があるなら情報交換をしていただき、可能な範囲で結構ですので、情報共有の努力をしていただけたらうれしいなというふうに思います。以上です。

○委員長（崎山 弘君） 今のことにつきまして何か。

その他で何かございますでしょうか。



#### ◎教育委員報告

○委員長（崎山 弘君） では、教育委員の報告に移りたいと思います。

○委 員（村越ひろみ君） では、委員の報告をさせていただきます。村越から報告します。

9月12日、金曜日、小柳小学校の研究発表会に伺いました。テーマは「ふるさと府中を愛する子供の育成」ということでの発表会でした。授業参観はできなかったのですが、発表会のみ参加させていただきました。各学年に見合った教材を使って、また地域の教育力を活用して授業が展開されている様子が伺えました。リレー提言の中で府中には文化財や文化遺産がたくさんあり、教材になるものがたくさんある。例えば西武多摩川線の由来を追ってみるのもどう

かとか、昔は「ふるさとは遠きにありて思ふもの」であったけれども、子どもたちがふるさとの一員として参画していくことがこれからのふるさとのあり方になるのでは。また自分の地域を愛することがいづれ我が国を愛することにつながる、決して押しつけるのではなく、人とかかわって、その思いに触れたり自然のよさ、人々のよさを見つけて、さらに課題を見つけ、解決する意識を持たせる教育が必要だということを聞くことができました。府中の子どもたちが府中を愛し、府中のよさをたくさん知っていけるよう、この研究発表をほかの学校でも生かしていけたらよいのではないかと思います。

9月26日、金曜日、青色申告会主催の第2回小学生「税の書道展」の審査会に伺いました。昨年へ続き2回目の書道展の審査会でした。明星学苑を含めた23校の4年生から6年生までの児童からの出品作品は2,734点あり、昨年へ比べ若干ふえたようでした。子どもたちが書いた作品を審査して選ぶというのは、どれも選んであげたいと思い、なかなか難しいものがありますが、ことしも素人なりですが、審査しながら子どもたちの努力の成果を見ることができました。子どもたちに税のことを知ってもらい、意識を高めるきっかけになるようにとの主催者の思いがありますので、続けていくことが大切だと思います。

9月27日、土曜日、運動会の参観に伺いました。南白糸台小学校、八小と六小に伺いました。運動会の参観は、それぞれの学校の特徴が見られて子どもたちの頑張る姿に感動できるので毎回楽しみにしています。1年生の演技、お遊戯ですね、無条件にかわいいし、また6年生の組み体操はとても感動的でリレーに至っては誰もが夢中になって声援を送れる競技です。この日は天候も穏やかで、どの学校も延期の心配もなく開催できてよかったと思いました。先生方のご指導に感謝いたします。

10月2日、木曜日、委員会訪問で二中と十小に伺いました。二中では校長先生のお話の中で朝、出席をとっているというふうにご伺いました。返事をさせることで、その日の子どもの様子を知る手段としてとてもよい取り組みだと思いました。また小中連携は以前から長く取り組んでいることは知っていましたが、中一ギャップも緩和されているというお話を聞き、成果があらわれていると思いました。この日、子どもたちは中間試験でしたが、私たちが校舎を回っていても真剣に取り組む姿を見ることができました。気になるのは、先ほどもありましたけれども、雨漏りがあったという話がありましたが、やはり校舎の老朽化がひどいかな、厳しいかなと感じました。ちょっと修繕は必要なのかなとは思いました。

また十小では校長先生が変わり、先生方が10人も入れかわったとのことで、また新採の先生もいらっしゃるとのこと、運営はなかなか厳しいのかなというのを感じましたが、副校長先生が細かなところまで目配りしている様子が伺えました。特別活動として縦割り活動をしていて兄弟学年をつくって、その学年を通して先輩を敬い、後輩を助けるという取り組みを始めたとのこと。今後、成果があらわれることを期待したいと思います。

10月4日、土曜日、みどり幼稚園の運動会に伺いました。この日は博物館のリニューアル式典もあったので、わずかしら参観できませんでしたが、開会式と年少さんのかけっこを見させていただきました。ことしから着任された山田園長先生の「よーい、どん」の合図を待たずに走り出してしまう園児の照れくさそうな表情に思わず笑みがこぼれました。

そのままみどり幼稚園を後にして27年ぶりにリニューアルされた郷土の森博物館の式典に伺いました。すっかり様変わりした展示にとっても感動しました。とても見やすく、わかりやす

く、大人も子どもも興味深く見ることができる博物館になったと思います。たくさんの来場者が期待できるのではと思いました。

また、この日は夕方からことし5回目となる熊野神社古墳まつりがあり、そこにも伺わせていただきました。私は初めて参加させていただいたのですが、日暮れとともにライトアップされる中で雅楽の演奏、府中東高校の和太鼓の演奏、そして、うた物語と幻想的な雰囲気の中で歴史と文化を感じとることができるすてきな一日でした。

10月5日日曜日、小柳幼稚園の運動会に伺いました。ことしから着任された関園長先生と少しお話することができました。幼稚園の運動会はお母さん方がとても精力的に動いてくれるので運営するのに大きな力となっているというお話でした。拝見していても競技の準備やライン引きなど本当によくやってくださっていました。年少さんのお遊戯はとてもかわいくて年長の親子競技ではお父さんのほうが張り切っている姿が見えて微笑ましかったです。

その日は午後には市民大会の開会式に伺いました。昨年に続いてあいにくの雨の中になってしまい、開会式は総合体育館で行われました。3カ月近く多くの市民が参加するこの大会は57回を迎え、スポーツを愛する市民には欠かせない大会になっていると思いました。そして、その日はまた50周年を迎える芸術文化祭がありました。その一部で行われた2つの梯団の中で、この文化祭の歴史を知ることができました。また府中囃子と四小のハーモニーブリーズジャズオーケストラの演奏も聞くことができました。昨年も思いましたが、府中は市民がスポーツにも文化にも触れることのできるすてきなまちだと誇れると思います。

最後に10月11日、土曜日、P連主催の三者対抗ソフトボール大会と懇親会に伺いました。まさにスポーツ日和という天候の中、P連主催のPTAの会長さんや役員の方のチーム、校長先生・副校長先生チーム、そして教育委員会チームの三者の対抗のソフトボール大会でした。昨年は教育委員会チームが優勝させていただきましたが、ことしは3位でした。それでも昨年よりもたくさんの方が参加してくださり、とても和気あいあい楽しい試合ができました。この大会が長く続くためにも三者の連携が不可欠だと感じました。

長くなりました、済みません。ありがとうございました。

○委員長(崎山 弘君) 崎山のほうから報告します。

9月11日に行われた前回の定例会以降の活動について報告します。

9月12日、小柳小学校研究発表会、10月5日、日曜日の市民体育大会、市民芸術文化祭などにも参加しましたが、ここでは第一小学校運動会並びに10月2日の教育委員会訪問について報告いたします。

9月27日土曜日に、第一小学校の運動会を参観いたしました。久しぶりに第一小学校の校庭に立ってみると南側の空にマンションなどの構想ビルが林立していて景色が大きく様変わりしていることに驚きました。学校が置かれる環境は時代とともに変わっていきます。そんな中で伝統的な鼓笛隊の演奏はますます充実し、立派になっている様子が伺え、校長先生初め教職員の皆様が府中第一小学校の学校経営に努力されている成果と拝見いたしました。

10月2日、木曜日に府中市教育委員会訪問で中学校1校、小学校1校、美術館を訪問いたしました。まず第二中学校に伺いました。二中では不登校の生徒数並びにいじめの件数がここ数年で著明に減少していると報告がありました。この2つの問題は生徒個人の状況に丁寧に対応する必要があります。不登校をなくそう、いじめをなくそうと号令をかければ事が進むとい

う問題ではありません。一律の対応では多くの成果は期待できません。しかし、二中では明らかに不登校並びにいじめ件数が減少しています。これは1人1人の教職員の途切れない努力とそれを支える校長、副校長先生の姿勢のあらわれであり、とても心強く感じました。

引き続き第十小学校を訪問しました。築40年を超える二中の後で新築したばかりの十小を見ると校舎が新しくきれいで明るく感じました。これは赤ちゃんの肌と中年男性の肌を比べるようなものであり、やむを得ないことです。この新築校舎の建築に伴って長らく校庭が使えなかった子どもたちが多い中、5月に実施されたスポーツテストの結果で3年生から6年生までの体力調査の結果が全国平均や東京都平均を上回っていたということです。このような結果は一朝一夕の努力で変わるものではありません。校庭が十分に使えないことを考慮に入れて子どもたちの体力維持をどうするかを考えておいていただいた結果のあらわれであり、学校経営の見事な成果だったと思いました。また給食のカレーもいただきましたが、とてもおいしく小食の村越委員の分も半分いただいてしまいました。子どもたちの喜ぶメニューなのだろうと感じました。

そして最後は美術館です。ミレー展をゆっくり鑑賞させていただきました。府中市市制施行60周年記念にふさわしい充実した展覧会です。ふだんは見る事ができない学芸員の方々の部屋も拝見し、熱意と努力を感じさせるその様子から関係されている方々もさぞご苦労されていることと思いました。

私からの報告は以上です。

**○委員(齋藤裕吉君)** それでは齋藤より報告させていただきます。時系列で報告させていただきます。

9月12日、金曜日は小柳小学校の研究発表会に出席をいたしました。テーマは先ほど村越委員のほうからお話があったとおりです。現在、社会のグローバル化というものが急速に進んでいるわけですが、世界で活躍できる府中っ子を育成するためには、まずみずからが育つ地域にしっかり根を張ってみずからの足元のことをよく理解し、愛着を持てるようにすることがまず非常に大切であるというふうなことをこの研究発表会で強く感じました。郷土の森博物館の学芸員の方のお話などもありまして、大変非常にわかりやすい話で参加した先生方にも大いに参考になったのではないかとこのように思いました。

9月26日、金曜日、午後、青色申告会の小学生の「税の書道展」の審査会に出席をいたしました。

9月27日、土曜日、2つの小学校の運動会を参観いたしました。最初は第五小学校、続いて第三小学校です。最初に第五小学校では開会式から参観をいたしました。全面芝生の上で子どもたちは素足で走ったり演技をしたりしておりました。第三小学校では子どもの人数が多いため非常に迫力のある、さまざま団体演技などが迫力のある演技を見ることができました。棒引きなどがとてもおもしろかったというふうに思います。土の校庭なわけですが、土の校庭だから足を踏ん張っても大丈夫というふうなところもあるのかなというふうに、芝生と土の校庭の上での活動の比較などをしながら参観をいたしました。いずれにしても両校とも子どもたちはとても元気で先生方も動きがよく、またPTAの皆様のご協力もいただいて、とてもすばらしい運動会だったと思います。

それから10月4日、矢崎幼稚園の運動会を参観いたしました。矢崎町防災公園というゆっ

たりとした雰囲気の中で開会式、そして最初のほうの演技を参観いたしました。お天気のぐあいもちょうどよくて園児たちは元気で伸び伸びと演技を楽しんでいました。また職員の皆さんはもちろんですけれども、保護者の皆様方がライン引きや用具の準備、片づけなど非常に熱心にお手伝いをしてくださっているのが心に残りました。

その後ですけれども、郷土の森の博物館の常設展示室のリニューアルオープンの記念式典に出席をいたしました。このリニューアルオープンに至るまでには一定の時間がかかったわけですが、市制60周年にあわせてオープンできたということで大変よかったなというふうに思います。常設展示室はいろいろと工夫をされていて、これから府中の子どもたちや市民の皆様方はきっと喜んで見学、参観をしてもらえるのではないかなというふうに思いました。個人的には熊野神社古墳から出土した鞆尻の金具ですね、これは期間限定で本物だということを出ておまして、少し磨きが入ったような感じでしたけれども、印象に残りました。

その同じ10月4日の夕方ですけれども、熊野神社古墳まつりの前夜祭に出席をいたしました。地域の皆様方、関係の皆様方いろいろと準備をしてくださって文化の香り高い前夜祭になったというふうに思います。雅楽の演奏、府中東高校の和太鼓クラブの演奏、そして熊野神社古墳にまつわるうた物語というふうに古墳まつりにふさわしい内容で、いにしえから現在に至るまでの長い歴史の経過に思いを巡らせることができるひとときとなりました。

10月10日金曜日ですけれども、この日は東京都市町村教育委員会連合会の管外視察ということで一日研修に参加をいたしました。朝、立川駅前を貸切バスで出発しまして、つくば市方面の4つの施設を訪問し、研修をまいりました。

1つ目は茨城県の阿見町にある予科練の平和記念館というところでした。戦前、戦中の海軍飛行予科練習部の施設があったということで、14歳半から17歳までの少年たちが全国から集まって訓練を受けて多くが戦地に赴いたという、そういう歴史に関する資料が展示されておりました。日本の歴史と命の尊さ、そして平和の大切さということを考える施設であったと思います。

2つ目は、つくば市にあるサイエンス・スクエアつくばという施設でございました。ロボット技術の研究開発に関する資料や体験コーナーなどが設けられておりました。昔は漫画の世界にしかなかったような人型のロボットだとかいろいろな動きを見せてくれました。これまで空想していたことが現実のものになりつつあるということに驚きと期待を持たせてくれるような内容でした。

3つ目は、地質標本館というところで地球の歴史や地下資源、そして地震や火山と人間とのかわりなどについて学ぶ展示施設でした。最後は同じくつくば市にあります宇宙航空研究開発機構、筑波宇宙センター、JAXAですね、ここを見学しました。日本の宇宙開発の中核を担う施設ということで、展示されているものは打ち上げ用の人工衛星の予備として製作された人工衛星などでした。ガイドの方の説明を聞きながら、ただ感心するばかりでございました。

全体を通して日本の歴史から地球の歴史、そして宇宙と非常に幅の広いジャンルにわたる研修内容でしたけれども、全体を通して思ったことは、これからの次代を担う子どもたちにはたくさん勉強をしてもらって視野を大きく広げて平和な社会と科学技術の一層の発展を担ってほしいなということはこの研修を通してつくづく思いました。

最後に10月11日、土曜日、三者対抗ソフトボール大会と、その後の懇親会に参加をいた

しました。府中市PTA連合会の皆さんと校長会・副校長会の皆さん、そして府中市教育委員会のソフトボールを通して一緒に汗を流し、親睦を深めるという行事、これが38年間も続いているということ、ほかには例の少ないすばらしい取り組みだと思いました。学校教育の発展のためには、この三者の連携というものは非常に重要であるというふうに思います。意義あるイベントであったと思いました。私のほうからは以上でございます。

**○委員（松本良幸君）** それでは、ちょっとたくさんあって恐縮ですが、松本よりご報告させていただきます。

9月12日、小柳小学校の研究発表会に出席してまいりました。ふるさと府中を愛する子供の育成」をテーマにした研究実績の発表をお聞きしました。地元光学会社の技術者や近隣農家ほかの方々をゲストティーチャーとしてお招きし、工業製品の開発努力や特産物である小松菜栽培、昔の遊びなどについてお話をいただき、教科書には載っていない身近な話題から郷土に対する興味、社会的な思考・判断力等の育成につなげていく指導法に感心いたしました。

9月26日、青色申告会主催の「税の書道展」の作品審査をしてまいりました。市内小学校児童の皆さんが一生懸命書いてくださった作品はどれもすばらしいもので、入賞作品を選ぶのはとても大変な作業でした。表彰式は11月16日に予定されています。

9月27日、南町小学校、住吉小学校、第五小学校の運動会を参観してきました。秋の運動会ということで4月に入学した1年生もしっかり団体行動ができるようになり、春に行われる運動会とは少し違う雰囲気でも元気いっぱいながらも安心して見ることができました。一方、高学年の児童たちは迫力ある走りや騎馬戦等に加え、運動会の運営にもしっかりと参加し、先生方と一緒に運動会を支えていた姿がとても立派でした。

10月2日、教育委員会訪問で第二中学校、第十小学校、府中市美術館を訪問してまいりました。第二中学校は中間試験期間でしたので、授業風景ではなく学校施設の状況について集中的に視察をしてまいりましたが、ほかの学校でも言えることですが、やはり全体的な老朽化が目立ちました。予算には限りがあるとは思いますが、児童・生徒の学習環境に関する部分は府中市にも頑張ってください、できるだけ改善を図っていただきたいと思います。

続いて訪問した第十小学校は昨年度、新築されたばかりですので、ぜいたくなくらい快適な環境でした。そこで学ぶ児童たちは落ち着いていて授業を受けていました。せっかくすばらしい学校ができたのですから、先生・児童たちには学校を大事にきれいに付けていただきたいと思います。

最後に訪問した美術館ではミレー展を現在開催中で平日の日中でしたが、大変多くの方々がお来館しておられ、人気のほどが伺えました。施設としては文句なくすばらしいものですので、企画や展示、PRについて工夫をして、できるだけ多くの市民に訪れていただくよう努力をお願いしたいと思います。

10月4日、小柳小学校の運動会に伺いました。開会式から応援合戦までの短い時間でしたが、児童たちの元気な姿を見ることができました。

同日10時より郷土の森博物館のリニューアル式典に出席し、新装された博物館の見学をしてまいりました。一新された施設内は、ただ単に展示物を並べるのではなく、時代の流れや展示品の見せ方に多くの工夫を凝らし、とてもすばらしいものになっていました。新しい博物館は児童・生徒はもとより多くの市民の方々、そして市外の方々に訪問してもらいたい私たち市

民自慢の施設になりました。

10月4日と5日「武蔵府中熊野神社古墳まつり」に伺いました。前夜祭は古墳前につくられたステージで雅楽や府中東高校太鼓部の演奏、熊野神社古墳オリジナルのうた物語の披露が行われ、秋の夜を楽しむ地域の方々にぎわっていました。あいにく翌日は2年続きの雨模様になってしまいましたが、開会式では高野市議会議員、吉野副市長様のご出席をいただき、お祝いの言葉をいただきました。その後、雅楽、ジャズ、ブルース、合唱等マルチなジャンルの演奏会が開かれ、西府町公会堂内は大いに盛り上がっていました。古墳まつり開催に当たり市川光会長を初めとした武蔵府中熊野神社古墳保存会の皆様並びに地域の方々に多くのご協力を賜りましたことに対して深く感謝申し上げたいと思います。

同日10月5日、ドリームホールで開催された市民芸術文化祭へ伺ってまいりました。記念式典は古墳まつりと重なってしまいましたので、第4部の長唄、日本舞踊を鑑賞してまいりました。ステージ上では高野府中市長と野口前市長の見事な舞も披露され、ふだんあまり見る機会のない日本の伝統芸能を堪能させていただきました。

10月9日、けやき教室の皆さんに稲刈り指導をしてまいりました。6月に田植えをした田んぼに生徒7名と先生方に集合してもらい、鎌を使って手作業による稲刈りを体験していただきました。青空の下、笑顔の中にも真剣に稲刈り作業に取り組む生徒の姿が印象的でした。きっと当日は健康的な疲れでぐっすり眠れたことと思います。またお忙しい中お手伝いいただいた阿部副主幹にも感謝申し上げます。

10月10日、市町村教育委員会連合会管外研修会に参加し、予科練平和祈念館とつくば学園都市にある博物館を視察してまいりました。予科練平和祈念館では太平洋戦争時代、十代の青年が御国のためにと厳しい訓練に耐え、その後戦地で命を落としていかれた事実を多くの資料から伝えてくれ、平和の大切さを痛感させられる施設でした。

午後に訪問した博物館では地球の生成からロボット工学、そして宇宙開発まで目が回るほどの科学技術の発展を感じ取ることができました。また行程内のバス車内では他市町村の教育委員会の取り組みについて情報交換をすることができ、とても有意義な時間となりました。

10月11日、PTA連合会主催、三者対抗ソフトボール大会に参加してまいりました。運動不足の体にはこたえましたが、ソフトボールを通してPTA連合会、校長・副校長会の皆様と交流を深めることができ、また教育委員会の団結力を実感することができました。お世話になったPTA連合会の皆様、教育委員会事務局の皆様、そして審判を務めていただいた三小タイガース指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

そして10月16日、本日、第六小学校のサツマイモ掘りを指導してまいりました。本年度から府中市よりお借りしている学校近隣の農地で1、2年生が1学期から育ててきたサツマイモの収穫を行いました。1株に5本以上も育ったサツマイモもあり、子どもたちは歓声を上げて収穫を楽しんでいました。以上で私からの報告を終わります。

**○教育長（浅沼昭夫君）** それでは、続きまして浅沼が重複を避けながら報告いたします。

9月27日、第六小学校の第60回運動会を参観しました。大変によい天気にも恵まれて風もあり、絶好の条件に恵まれた中、スローガンどおりに全力で競技する児童の姿、中でも工夫を凝らした対戦方式の5年生と6年生による騎馬戦が目を引きました。今回からシートを敷いての見学はできないということで敬老席以外は立ち見ということでございました。入れかえ

制をとるための大規模校ならではの工夫が見られました。

9月28日日曜日ですけれども、ルミエール府中で開催されましたPTA連合会とNPO法人地域教育ネット共催の進学相談会に出席し、挨拶を述べてきました。時間前から多くの方々が出席する中、ご両親同伴での参加が多かったように感じました。

続きまして10月4日、郷土の森博物館リニューアルオープニングセレモニーに出席をしました。その後、夕刻から開催されました熊野神社の古墳まつりの前夜祭に初めて参加しました。古墳がライトアップされる中、雅楽や太鼓の演奏を楽しみました。最後に国史跡、武蔵府中熊野神社古墳うた物語「川と大地と人のクロニクル」の初演がありました。歌詞に加えまして琴と声楽の調は大変感動的でありまして、府中の歴史がわかりやすく表現されており、学校教育でも活用できないかと考えているところです。

10月8日と9日ですけれども、小学校の連合陸上競技会を短時間ではありましたが、参加いたしました。児童の競技に参加する姿を見学しましたが、この種目は児童みずからが選んでいるということのせいでしょうか、意欲的に記録に挑戦する姿が大変好感が持てました。

10月11日土曜日、グリーンプラザで開催されました地域安全市民の集いに出席いたしました。今回のテーマは「子供と女性の犯罪被害防止、子供が狙われる、学校・PTA・地域が一体となって子供を犯罪から守ろう」でした。最近、子供たちが犯罪に巻き込まれる事案がある中で、このようなイベントを開催し、市民全体で子供たちを見守っていただけることを大変心強く思っています。その後、P連主催の三者対抗ソフトボール大会、そして懇親会に参加いたしました。以上であります。

**○委員長（崎山 弘君）** それでは、これを持ちまして平成26年第10回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成26年12月18日

府中市教育委員会委員

村越 ひろみ

府中市教育委員会委員

浅沼 昭夫